

浅葱号

Shoukai

発行者: 寶積英彦, 埼玉県狭山市水野 594 番地, 編集長: 関口 歩 企画編集: 広報紙編集室,
ホームページ: www.syojukai.or.jp メール: syojukai@mirror.ocn.ne.jp



ホームページ ブログ

地域貢献の一環として ～狭山市第18区の投票所になりました ひこばえホール～

社会福祉法人尚栄会特別養護老人ホーム福寿の里は、お陰様で1周年を迎えました。特別養護老人ホームの運営と並行して、社会福祉法人として少しでも地域に貢献できることを模索している中で、福寿の里の“ひこばえホール”が、平成31年度より、狭山市第18区投票所になりました。

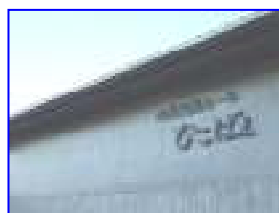
今年は「選挙の年」といわれるように、4月から多くの選挙が予定されています。福寿の里のご入居者様やご家族様だけでなく、多くの地域の方がひこばえホールを訪れて下さることで、またひとつの出会いがあるのではないかと期待しています。

ひこばえホールは、地域の皆様のホールとして安価で貸し出しにも応じておりますので、グループや地域活動の場所として、生涯学習の発表の場所として、ぜひご活用頂ければと思っています。また、福寿の里の施設内にあります“カフェテリアのどか”も、4月から営業を始めようと準備中です。管理栄養士監修の昼食の提供と、お茶のできる環境を目指し、地域の皆様の集いの場になればと考えております。

社会福祉法人として歩みだして1年。稚拙な歩みではありますが、少しずつでも確実に、地域貢献を形にできるよう頑張っ参ります。

特別養護老人ホーム福寿の里 施設長 関口 歩

問い合わせ先 特別養護老人ホーム福寿の里 電話04-2957-1163



あいサポート運動 ～だれもが暮らしやすい社会をつくっていくために～

「あいサポート運動」とは、障がいのある方が困っていることなどを理解して、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方も暮らしやすい地域社会(共生社会)をみなさんと一緒につくっていく、という運動で、平成21年11月に鳥取県で始まりました。

尚寿会・尚栄会でも、この運動を推進していくために、昨年夏より活動を開始しました。今年1月には「あいサポーター研修」を、まず大生病院リハビリテーション科職員が受講しました。今後も定期的に研修会を開催し、より多くの職員に輪を拡げることを目指します。

白とオレンジ色のハートのバッジが“あいサポーター”の証です。皆様のご理解とご協力を頂きながら、おもいやりがあられる地域社会づくりに貢献していきたいと思っております。(ちか)



ホームページ人事採用サイトをリニューアル!

2月1日より、法人ホームページ内の「採用サイト」をリニューアル致しました。今回の目的は、単に見映えや内容の充実を図るということだけでなく、人材採用(特に看護師・介護士)が非常に厳しいと言われている昨今、求職者の方だけでなく、職員やそのご家族、また地域の方々にもいかに当法人に魅力を感じ、尚寿会で働いてみたいと感じて頂けるかをコンセプトとし制作しました。

サイトを訪れた方に「応募してみよう!」とさせていただく、そんな内容のサイトを目指しています。人事課
募集職種…介護士・介護福祉士・看護師・准看護師・薬剤師・管理栄養士・調理師・精神保健福祉士

問合せ先 医療法人尚寿会法人事務所 人事課 TEL04-2957-1144

あなたの想いを介護の世界で発揮してみませんか？ ～尚寿会グループでの介護職～

四回目のインタビューは、開所一年の新しい特養、福寿の里の介護職の魅力についてお届けします。

医療法人尚寿会人事課

笑顔がいっぱい！ ～仲間とともに明るく楽しい毎日を～

インタビュー：特別養護老人ホーム「福寿の里」介護福祉士 湯本千晴さん

【福寿の里の介護士としての魅力】

ユニットケアは数名のグループ単位での生活のため、入居者様それぞれの生活に合わせるための課題は多いです。でも、御入居者様自身がやりたいと思う事ことをやらせてあげたい、どうしたら喜ばれるかを仲間と一緒に考えることがやりがいとなっています。克服できた時には入居者様も笑顔になり、達成感をみんなで一緒に味わうことができます。

施設内にいると体をあまり動かさず、季節もわかりにくくなりますが、気温や風を肌で感じてほしくて、庭に散歩に出たり、普段からリハビリを積極的に行ったりしています。

職員は経験値が幅広いため、未経験の職員にはより高度な知識を、経験者には初心を思い出してもらい、そんなウィンウィンの関係を築けるのも福寿の里の魅力だと思います。

【福寿の里の行事・レクリエーション】

1月に行われた餅つき大会では、年の功もあり、入居者様から職員にお水の量やつき方について、熱くご指導頂き、大変盛り上がりました。この他にも豆まき

や秋祭り、梅ジュース作りなど、職員がアイデアを出し合って企画するのも楽しみとなっています。

フラワーアレンジメントは、ボランティアの方にお越しいただき、施設内がとても華やかになり、好評です。

【専門性と関係性】

リハビリや入浴は時間が決められていないため、その都度連絡を取り合っています。一番そばに寄り添う時間は長いのですが、介護士だけでは気づかないことも多いので、ひとりひとりにあった対応ができるように他職種で協力をしています。食事形態の変更も、看護師からアドバイスをもらい、栄養士に伝えることで入居者様が完食できた時はとてもうれしくなります。

【教育】

ユニットケアは毎日同じ流れではないので、その都度教えていく流れですが、重要なことは統一して伝えるようにしています。新入職の方には、新鮮な感覚があるので、自由な発想に期待しています。人によって、時代によって違うので、型にはめた教育ではなく、日々改善を意識しながら切磋琢磨していきたいです。

組織の基盤を強固にするために…

～尚寿会グループ科長（課長）・係長コミュニティ（SKC）4月から始動します！～

尚寿会グループは、お陰様で昨年40周年を迎えました。現在、グループ内の施設運営としては、狭山市唯一の慢性期医療を主軸とした「大生病院」、認知症疾患医療センターの「あさひ病院」、自立支援・在宅復帰を基本とした「介護老人保健施設 愛」、サービス付き高齢者向け住宅「わが家入居」、昨年オープンした「社会福祉法人尚寿会 特別養護老人ホーム福寿の里」があります。また、在宅を支える、訪問介護・看護、居宅介護支援事業所等、多くの事業所が連携して、地域医療・地域介護に邁進しております。

現在尚寿会グループには、1100名ほどの職員が働いており、その中でも運営の要となる科長（課長）は22名、係長は21名、合わせても43名しかおりません。科長（課長）・係長の役割は多岐にわたります。法人の理念や方針に沿った部署運営は、部署の業績責任者としての役割と、活性化推進者としての役割を担っています。求められているものは、職場におけるリーダーシップの発揮や部下指導、上司の補佐、問題発見と解決、他部署との連携など様々ですが、その具体的な内容は、自身の経験や勘だけでは乗り越えることが困難な複雑・煩雑な案件ばかりです。

このSKCでは、それらに必要な「思考」「理論」「手法」「知識」「工夫」などを取り入れていく場として、また、横断的な情報交換の場として始動します。今後の科長（課長）・係長に大いに期待ください。

尚寿会グループ人事課 中村 香

老健 愛 第6回学術大会の開催 ～大会テーマ「その人らしく愛らしく」～



尚寿会では、職員の日々の業務の向上や患者様やご利用者様の生活の質を高めるため、2年に1度の尚寿会学術集会をはじめ、各施設・部署ごとに日々研究や勉強会を開いています。

愛では、今年で6回目となる愛学術大会を、3月8日に開催します。愛の学術大会の特徴は、何といても多職種による幅広い研究。特に今回は、介護福祉士

や介護士の方たちの研究発表が多くなっています。また、委員会からの発表があり、老健らしい内容ばかりです。

今後ともご利用者様のため、自分たちのスキルアップのため、学術のみならず初心を忘れず自己研鑽に努めて参ります。演題は以下のとおり、気になる演題がありましたら是非「愛」までご連絡ください。(なみ)

- 演題
- ・徘徊行動を繰り返す利用者への対応を通して考える認知症ケア
 - ・より良い職場を目指して～サンクスカードで認め合おう～
 - ・接遇推進チームの活動報告とアンケート調査から見てきたもの
 - ・わくわく楽しいお出かけをしよう！～外出レクリエーション企画マニュアル作り～
 - ・過去から現在、そして未来へ生かす「生の声」～通所リハ・ご利用者・ご家族様へのアンケート2018～

本年度最終ミッション！クリーン作戦実施 ～地域交流推進委員会～

今年度、初めて委員会への参加と同時に委員長をさせて頂いた私にとって、平成30年度の活動は天候との闘い続き、フリーマーケットをはじめ、地域でのお祭りも中止が相次ぎ、思うような活動を展開できないもどかしさを感じる一年でした。しかし、不安でしかなかった初参加の私も、委員会メンバーや職員との繋がりを深めることができ、今年度の経験を生かして、来年度も引き続き委員として活動していきたいと考えています。

本年度の締めくくりとして、3月16日にクリーン作戦を企画しております。尚寿会グループの職員を対象にボランティアを募り、地域の皆様へ感謝を込めて地域清掃活動を実施します。

来年度も地域交流推進委員会の活動へ、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

地域交流推進委員会委員長 あさひ病院リハビリテーション科 吉田佳祐

グループ法人の職員を繋ぐ親睦会の役割 ～新年度の役員募集中です！～

気が付くと、あっという間に時が過ぎ、1年間の親睦会役員任期を終えようとしています。最近、ニュースなどで会社の飲み会や催しに参加しない若者が増えているとよく耳にしますが、これは若者だけでなく、すべての年齢層に言えるのではないかと私は考えます。

親睦会の行事は、尚寿会グループで働く全ての職員に対して、仕事以外での交流を促し、法人に属する仲間として、人としての繋がりや思いやり、一緒に楽しむ場を提供するものだとは考えています。本年度の親睦会行事が、法人全体の結合・連携を促し、厳しい社会情勢に適應できる一助になったとすれば嬉しいです。

親睦会会長 大生病院リハビリテーション科 佐々木貴博

ありがとうございます！ ～永年勤続感謝状授与式～

尚寿会グループでは、大生病院の開院記念日である2月1日に、永年勤続者の表彰を行っています。本年の対象者は40年1名、30年2名、25年1名、20年6名、15年22名、10年52名の計85名の表彰者で、實積理事長より、永く勤務している職員への感謝の言葉と共に、記念品が贈られました。

これだけ多くの職員が永く勤務していることに、尚寿会グループの歴史を感じました。

(エム)





蜃気楼 ～憩いの場 出会いの場～

航空公園が好きで、よく出かけます。ぶらぶらしていると、思いもかけない出会いがあったりします。患者さんに話しかけられることもあります。

「先生に言われて、少し運動を始めました。また、健診結果持っていきますね。」と、男性に声をかけられ、話の内容で患者さんだと知り、またあるときは、「あれー、先生、また今度ー」と、おばさまが子犬に引っ張られて嵐のように過ぎ去り、ああ、あの人の血糖が最近落ち着いているのは、あのやんちゃな子犬のおかげね、と妙に納得したり。

こんなこともありました。初夏の芝生に寝転んでいたときです。3歳位のぼうやが、おもちゃのダンプカーを大事に抱え、私の顔をのぞきこんできました。なんだか遊んでほしそだったので、ダンプカーの荷台にシロツメクサの花を積んであげました。そんなことでも楽しかったのでしょうか、自分でも花を載せ始めました。ふと気が付くともう一人、ダンプカーを抱えた男の子がいます。よく見ると双子です。この子も加わって、3人でダンプカーを花でいっぱいになりました。すると満足したのか、少し離れたところから見守っていた、お父さんらしき人のもとへ去って行きました。一言の会話もない、20分足らずの時間でしたが、とても満ち足りた気がしました。私にとって航空公園が、所沢に住んでいる理由のひとつかもしれません。



大生病院3階西病棟 内科外来木曜日午後 担当 平田 彰

2020年問題 ～介護を考える～

少子高齢化に伴い、全国的に働き手不足が深刻化しています。これは、すべての企業の存続にかかわる重大な問題として位置づけられています。中でも介護職不足は深刻で、その理由のひとつとして、介護離職が年間約10万人にも上ることです。

こうした中、国は介護問題を重要視し、介護事業、介護現場の安定を図るために、これまでいくつかの施策を展開してきましたが、残念ながら解決には程遠い結果となっています。過去に、リーマンショックがあり、世の中が不景気になったときに、職を求めて大勢の方が介護の世界を選択するという経緯がありました。この時から介護業界は、不景気にならなければ人が集まらないのが、定説となっています。つまり、介護職は、最終的就職の場であることを意味しています。このこと事態が、介護職員不足の根底にある原因であり、最優先に解決しなければならない問題であると思います。

介護福祉士が誕生して30年以上になるにも関わらず、介護の仕事に希望を見出すことができない現状を作り出してきた国の責任は大きいと思います。



この問題を解決するには、国が動くのを待つのではなく、現場が積極的にそして建設的に介護職の位置づけを見出し実行することが大事で、事業主及び多職種も支援をする姿勢を発信していかなければと思います。

仕事をする上でお金はもちろん大事なことです。でも、それ以上に大事なことがあります。それは、自分を認めてもらうことです。この30年、国や社会は、介護職を、介護士を認めてきたでしょうか。とても大切なことが欠けているような気がするのは、私だけでしょうか。 (茶木)

こいのぼり大募集！ ～尚寿のこいのぼり～

恒例となった尚寿のこいのぼり。今年もたくさんの方のこいのぼりを尚寿会の空に泳がせたいと思いますので、ご自宅に眠っているこいのぼりがありましたら、ぜひお譲り頂きたいと考えています。ご連絡を頂ければ引き取りに伺います。宜しくお願い致します。 (熊☆)

連絡先 医療法人尚寿会法人事業本部 04-2957-1144

☆浅葱号☆あさつき号 あさつきは、ユリ科の多年草で各地の山野に自生します。にらに似た細い薄緑色の葉で、根はらっきょうのような鱗茎です。汁物の実やみそ和えなどで食する野草の一種ですね。あさつきに限らず、春を告げる野菜や野草は、香が強くとちとした苦味があるものが多いように思います。(歩)

